

銘柄コード 7564

2015年3月期 決算説明会



株式会社 ワークマン

2015年5月13日 開催

ご説明内容



- ・2015年3月期決算の概要 P3~P9
- ・今後の戦略について P10~P13
- ・2016年3月期決算の見通し P14~P21
- ・2015年3月期決算の詳細 P22~P27

● 2015年3月期決算の概要

今後の戦略について

2016年3月期決算の見通し

2015年3月期決算の詳細

決算概要



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期			
	金額	前期比	実績	前期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	68,801	+7.7	69,185	+0.6	72,904	△5.1
(既存店売上高)	—	+5.3	—	△0.9	(+4.2)	(△5.1)
営業総収入	48,137	+6.8	48,426	+0.6	51,646	△6.2
販売費及び一般管理費	8,136	+4.2	8,302	+2.0	8,540	△2.8
営業利益	8,378	+13.3	8,339	△0.5	9,032	△7.7
経常利益	9,503	+12.7	9,469	△0.4	10,170	△6.9
特別損失	40	△26.4	19	△52.8	45	△58.0
当期純利益	5,586	+10.7	5,876	+5.2	6,199	△5.2
1株当たり当期純利益	273円81銭		288円05銭		303円85銭	
1株当たり配当金	83円00銭		87円00銭		83円00銭	

※2015年3月期の予想数値は、2014年4月30日に公表しました数値です。

決算のポイント

出店状況

- 開店 23店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 5店舗、閉店 4店舗
・北海道・熊本県に初出店、42都道府県下にエリア拡大
- 2015年3月末 749店舗(前期末比+19店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2015年 3月末 641店舗(前期末比+23店舗)
- 直営店:業務委託店舗 77店舗、トレーニング・ストア 31店舗 合計108店舗
- フランチャイズ・ストア比率 85.6%(前期末比+0.9ポイント)

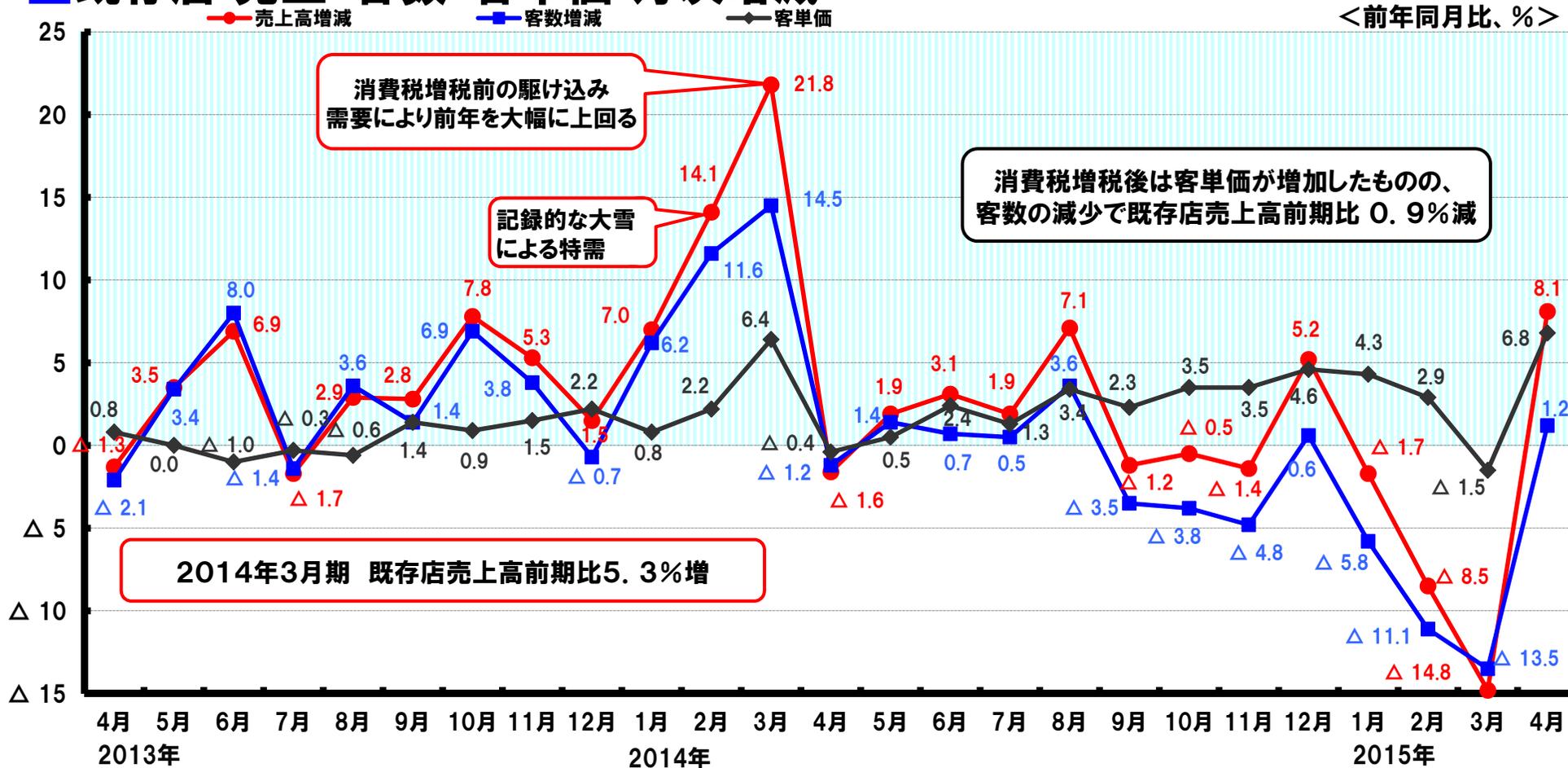
販売強化

- プライベート・ブランド(PB)商品 395アイテムを展開
 - ・ PB商品の売上高 115億 39百万円(前期比 +59.4%)
 - ・ チェーン全店売上高に占める構成比 16.7%(前期比 6.1ポイント増)
- 春夏:涼しさを追求したWM COOLシリーズを重点販売
- 秋冬:天候や作業シーンに合わせて選んで重ねる防寒商品を重点販売
- 客層拡大を目的に新デザイン店舗の開発と店内レイアウト改装を実施

月次推移と要因



■ 既存店 売上・客数・客単価 月次増減



販売状況



チェーン全店売上高 691億円 客数2,890万人

<前期比、%>

	チェーン全店	既存店
売上高	+0.6%	△0.9%
客数	△1.5%	△3.1%
1日当たり平均客数	—	113人
客単価	2,395円	2,399円
	+2.2%	+2.3%
1品単価	885円	886円
	+38円	+38円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	△0.1点	△0.1点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

既存店1店舗の平均年商と1日平均来店客数の推移



※2014年3月期以前の平均年商及び平均来店客数は各期毎に発表した数値を使用しており、対象店舗は2015年3月期の既存店舗とは異なります。

商品別売上高と要因



■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2014年3月期		2015年3月期		要因
	売上高	前期比	売上高	前期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	6,644	+5.2	6,647	+0.0	メッシュソックス、防寒靴下など季節商品の販売は好調。 定番靴下の販売がやや不調。
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	6,773	+4.5	7,165	+5.8	年間を通してコンプレッション(着圧)ウエアの販売が好調。
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	19,550	+5.7	19,256	△1.5	増税前の駆け込み需要の反動で年間定番商品のまとめ買いが減少。
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	14,355	+8.4	14,151	△1.4	セーフティシューズや新商品の軽作業靴の販売が堅調。 長靴は前年の大雪の反動で前年割れ。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	19,481	+11.8	20,011	+2.7	防水防寒ウエアの販売が好調。
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,995	+5.1	1,952	△2.1	白衣の販売が低迷。
合計	68,801	+7.7	69,185	+0.6	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前期比較

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	<%> 前期増減 (2014~ 2015)
衣 料	■ファミリー衣料	9.7	10.0	9.9	9.9	9.7	9.6	△0.1
	■カジュアルウエア	9.2	9.7	10.1	10.1	9.8	10.4	+0.6
	■ワーキングウエア	29.0	28.4	28.5	29.0	28.4	27.8	△0.6
用 品	■履物	21.0	20.8	20.8	20.7	20.9	20.5	△0.4
	■作業用品	27.2	27.5	27.6	27.3	28.3	28.9	+0.6
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	3.9	3.6	3.1	3.0	2.9	2.8	△0.1
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

2015年3月期決算の概要

● **今後の戦略について**

2016年3月期決算の見通し

2015年3月期決算の詳細

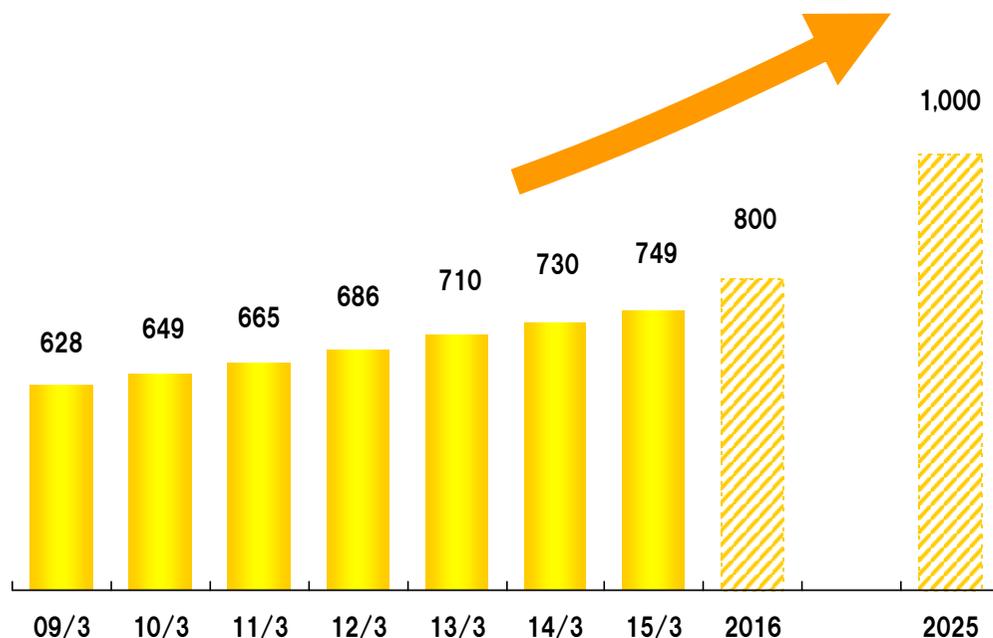
出店戦略



ドミナント・エリア化の推進で個店売上の向上を図る

- 2025年に1,000店舗を展開し日本全国どこでも購入できる店舗展開を目指す
- 年商1億円店舗の拡大

■ 期末店舗数の推移 (2016年以降は目標値)



プライベート・ブランド(PB)商品の開発を拡大

■PB商品「**WORKMAN BEST**」の開発で他社と差別化を図る

・5年で PB比率 30%達成へ

・デザイン性を取り入れ客層を「働く人」だけでなく、一般顧客に拡大



透湿レインスーツSTRETCH 上下組



ダブルメッシュ半袖 poloシャツ
ダブルメッシュカーゴパンツ



バースアイポロタンダウン半袖 poloシャツ
ピケストレッチパンツ

客層の拡大とお客様に喜ばれる店づくりで売上・客数アップを図る

■客層の拡大を目的に新デザインへ変更

- ・白を基調とした明るくソフトなイメージ
- ・一般のお客様が入りやすい店舗へ



■すべてのお客様に喜ばれる店づくり

基本4原則の指導を強化



基本4原則の取り組みが優れた加盟店に対して顕彰する制度を4月よりスタート

↓
お客様対応の質を向上させ売上・客数増を図る

2015年3月期決算の概要

今後の戦略について

● **2016年3月期決算の見通し**

2015年3月期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2015年3月期		2016年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	69,185	+0.6	72,333	+4.5
(既存店売上高)	—	△0.9	—	+3.0
営業総収入	48,426	+0.6	50,247	+3.8
販売費及び一般管理費	8,302	+2.0	8,515	+2.6
営業利益	8,339	△0.5	8,749	+4.9
経常利益	9,469	△0.4	9,901	+4.6
特別損失	19	△52.8	29	+53.1
当期純利益	5,876	+5.2	6,324	+7.6
1株当たり当期純利益	288円05銭		309円97銭	
期末営業店舗数	749店舗		773店舗	

決算の見通しポイント



通期業績予想

■販売計画

- ・ チェーン全店売上高 723億円(前期比 +4.5%)
- ・ 既存店売上高前期比 +3.0%
 - 〃 客数前期比 +1.0%前後を想定
 - 〃 客単価前期比 +2.0%前後を想定
- ・ 上期チェーン全店売上高前年同期比 4.6%増、既存店前年同期比 3.4%増
- ・ 下期チェーン全店売上高前年同期比 4.5%増、既存店前年同期比 2.7%増

■利益計画

- ・ フランチャイズ・ストア荒利率 35.5%を想定
- ・ 経常利益 99億円 前期比 +4.6%
- ・ 当期純利益 63億円 前期比 +7.6%
- ・ 5期連続の過去最高益更新へ

出店計画

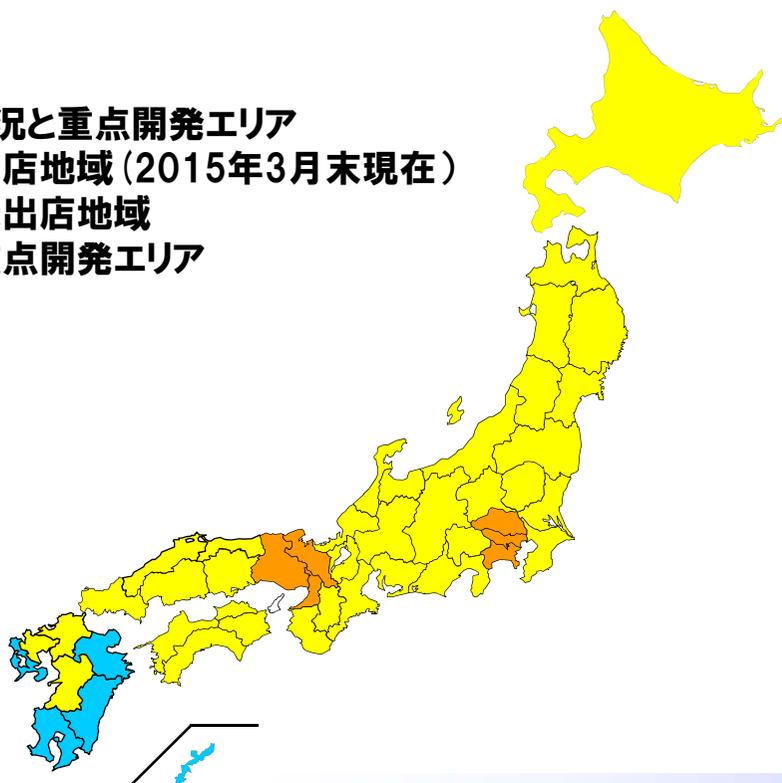


2016年3月期計画

- 開店 25店舗、クローズ 1店舗で、773店舗(前期末比 +24店舗)
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 3店舗
- ドミナントエリアの構築→関東・近畿への出店強化

出店状況と重点開発エリア

- 出店地域(2015年3月末現在)
- 未出店地域
- 重点開発エリア



地域別出店計画

<店舗数>

地域	上期計画	下期計画	通期計画
北海道	2	1	3
東北	0	1	1
関東	1	6	7
中部	0	1	1
近畿	1	5	6
中国	1	1	2
四国	1	2	3
九州	1	1	2
合計	7	18	25

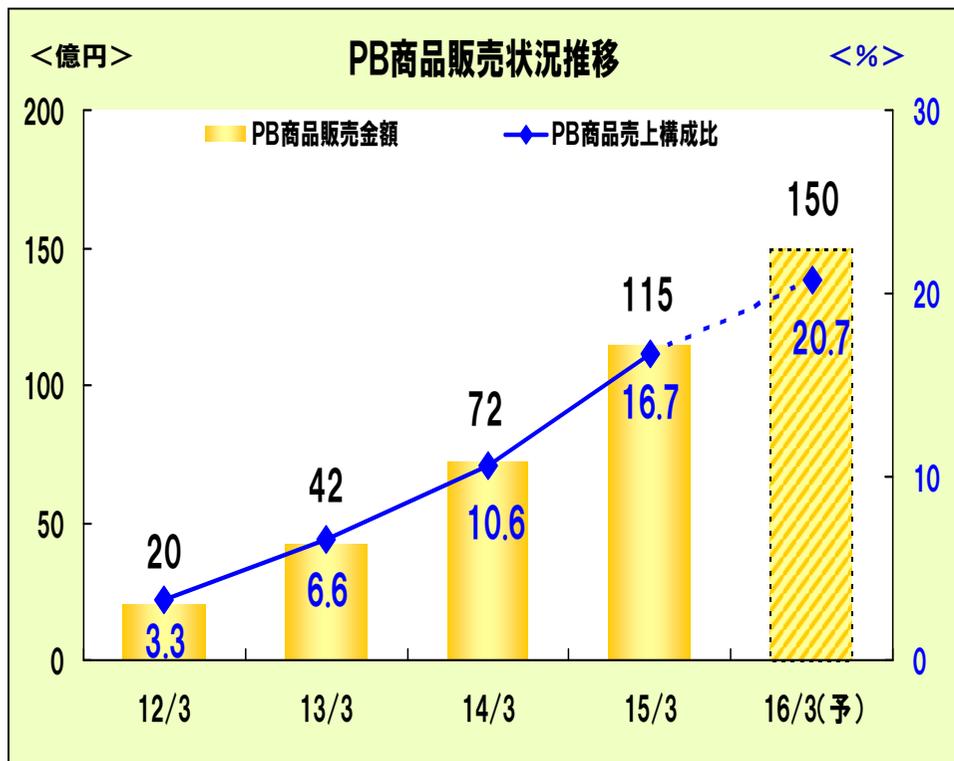
※スクラップ&ビルドは、上期1店舗、下期2店舗を計画しております。

商品政策



2016年3月期計画

- 差別化できるPB商品の開発を拡大
- PB商品売上高 150億、PB比率 20.7%計画
- 価格、品質、機能でさらに他社と差別化



夏ラク コーディネート

夏ラク NATSURAKU

夏は、もっと「楽」に変わる!

接触冷感、抗菌防臭、吸汗速乾、UVカット機能で猛暑対策に最適。

肌側に綿の強撚糸を使用し、とてもシャリ感のあるメッシュソックス。

涼快メッシュ靴下 ミドルタイプ3足組 780円

手のひら全面通気でムレずに快適作業!

WM COOL 天然ゴム背抜き手袋 1双 250円

背中、肩、脇、内股部分にメッシュ使用。ワークマンで一番涼しい作業服。通気量1.4倍!

ダブルメッシュ長袖シャツ 2,500円

ダブルメッシュカーゴパンツ 2,500円

背中メッシュベンチレーションとハニカム素材のダブルメッシュで通気性抜群!

ダブルメッシュV襟半袖Tシャツ 780円

ダブルメッシュ半袖ポロシャツ 1,500円

WM BEST COOL 400MAN BEST

WM COOL キャップ(柄) 499円

WM COOL キャップタープ付き(柄) 580円

コーディネートしやすいカラーバリエーション。

B-002 GIラインベルト 399円

加盟店サポート



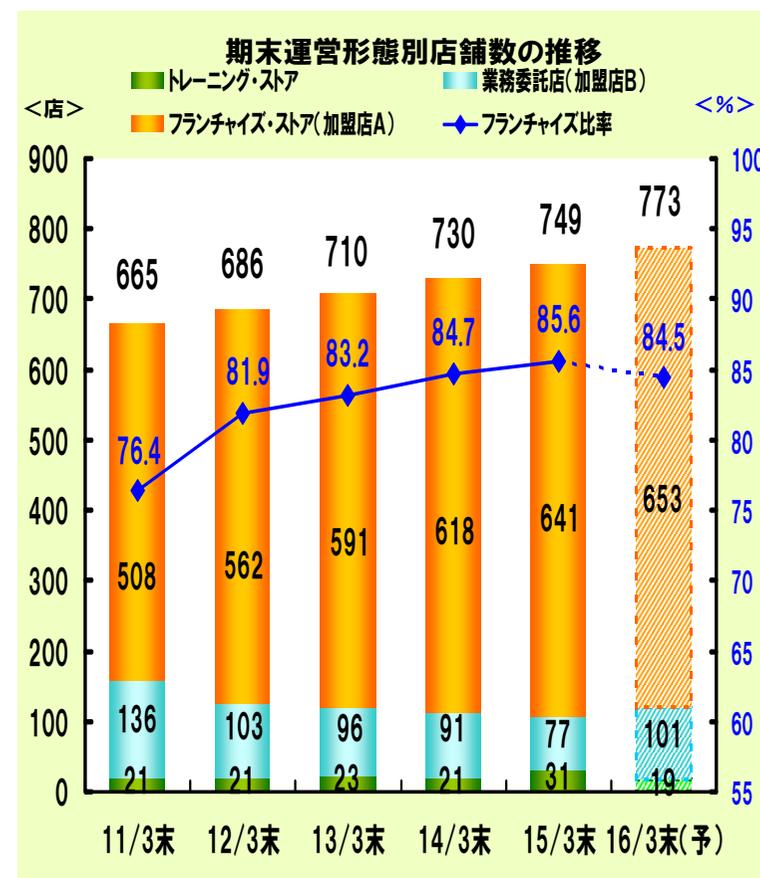
■加盟店支援強化

- ・競争力ある「PB商品」の開発で品揃えの強化
- ・スーパーバイザーによる販売分析データを活用した加盟店への指導
- ・効果的なテレビCMの放映
- ・発注・品出しなど店内作業の軽減化

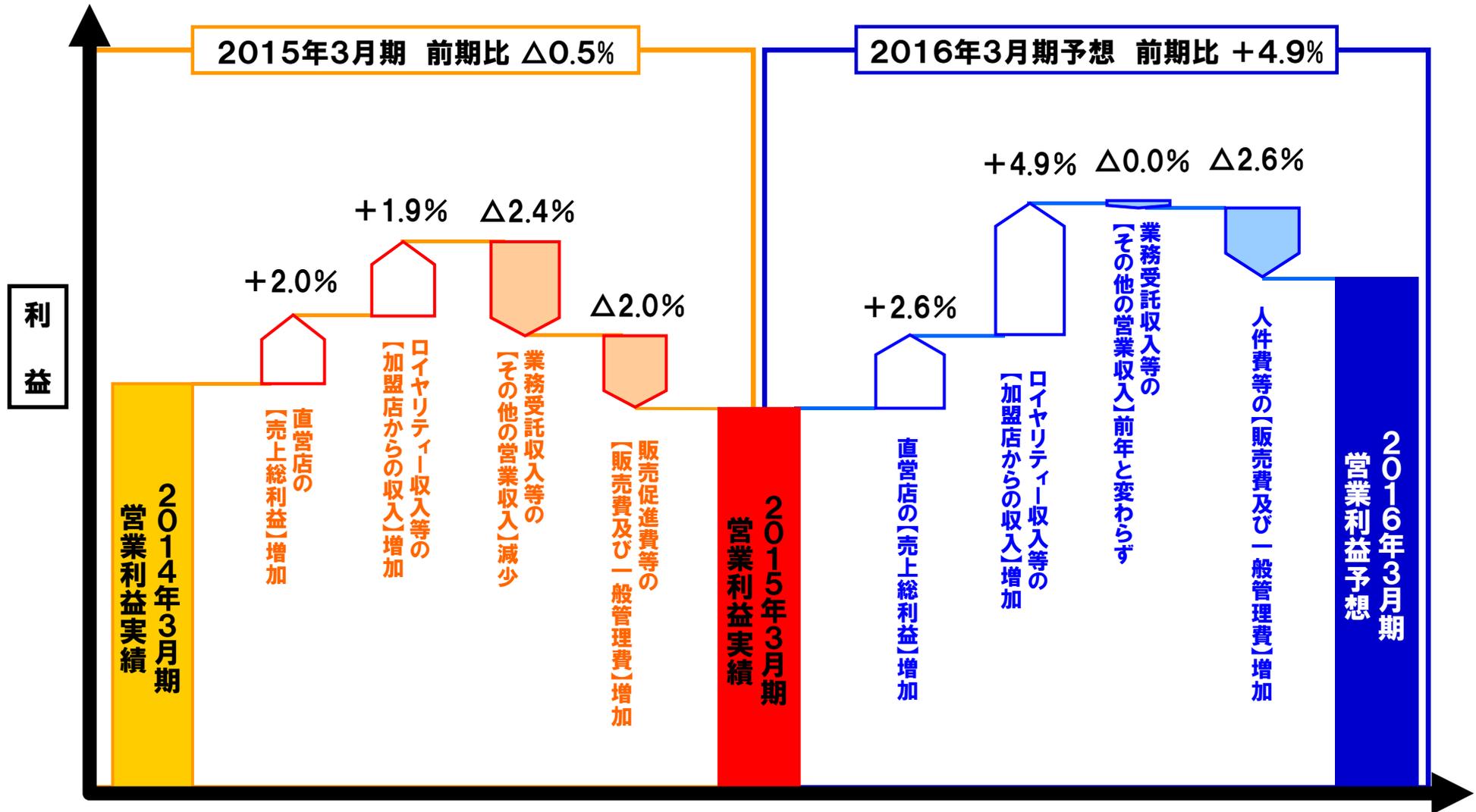
■個店売上の向上でフランチャイズ・ストア化を推進

- ・2016年3月末フランチャイズ・ストア 653店舗
- ・前期末比 +12店舗
- ・運営形態変更計画

業務委託店(加盟店B契約)→フランチャイズ・ストア
(加盟店A契約)へ 8店舗変更(前期実績 35店舗)



収益分析グラフ



※数値は営業利益の増減に影響を与える
主な要因を概数で表したものです。

要 因

配当金について



■ 基本方針

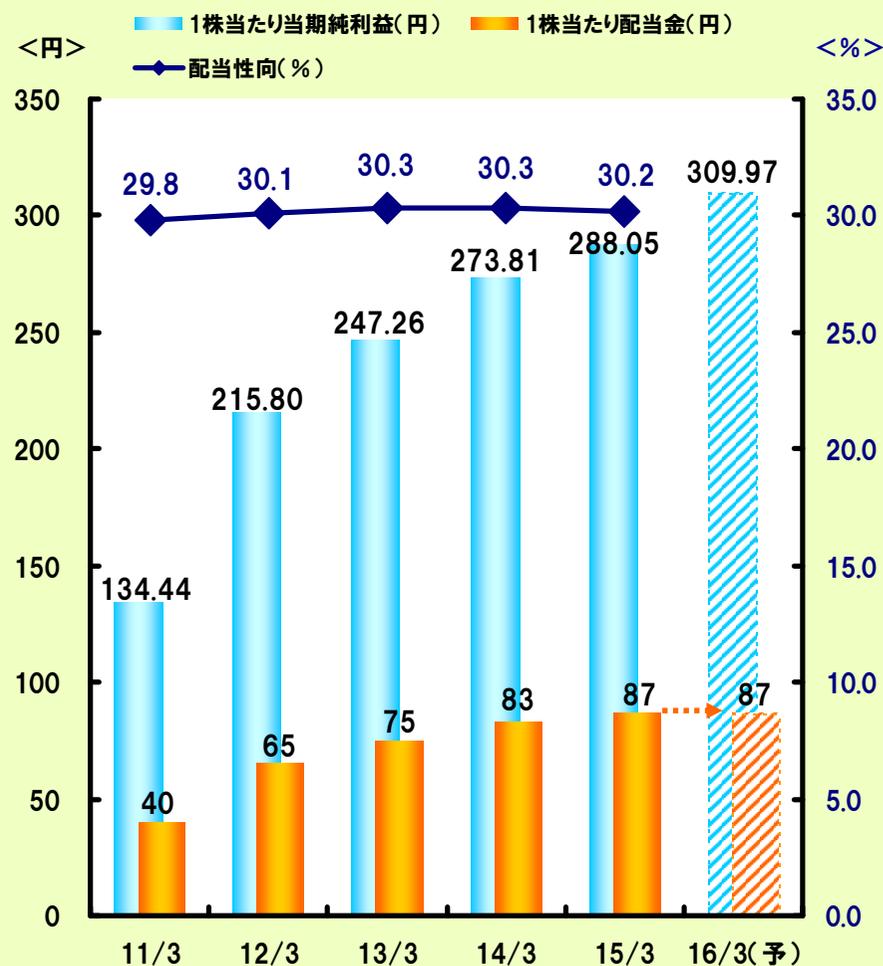
弊社は、株主の皆様に対して、適正な利益配分を継続して実施することを経営の重要課題と位置づけ、永続的な成長を実現するために必要な内部留保の充実を図りながら、業績に基づいた利益の配分を行うことを基本方針としております。

■ 配当性向 30%を目処

■ 1株当たり配当金

- ・ 2015年3月期
4円増配し 87円を予定しております。
- ・ 2016年3月期
前期同様の 87円を予想しております。

1株当たり当期純利益と配当金の推移



2015年3月期決算の概要

今後の戦略について

2016年3月期決算の見通し

● **2015年3月期決算の詳細**

貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2014年 3月期末	2015年 3月期末	増減	増減要因
流動資産	36,838	40,208	3,369	
現金及び預金	26,040	28,028	1,988	
加盟店貸勘定	4,965	5,584	618	対象店舗が42店舗増加(549店舗→591店舗)
商品	4,597	5,500	902	流通センター在庫が6億98百万円増加、 海外仕入の未着商品が1億50百万円増加、店舗在庫は54百万円増加
固定資産	16,156	16,640	484	
有形固定資産	9,016	9,595	579	出店・閉店状況
建物(純額)	3,698	4,018	320	出店28店舗(S&B5店舗を含む) ・ 閉店 4店舗
構築物(純額)	817	805	△12	出店形態 建物リース20店舗 建物リース 3店舗
土地	2,966	2,966	—	土地リース 8店舗 土地リース 1店舗
リース資産(純額)	942	1,190	247	11店舗で3億39百万円計上
その他(純額)	591	614	23	
無形固定資産	369	350	△18	ソフトウェアの償却
投資その他の資産	6,770	6,694	△76	
長期前払費用	740	706	△34	
繰延税金資産	610	600	△10	
差入保証金	5,407	5,379	△27	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	52,994	56,848	3,854	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2014年 3月期末	2015年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	10,082	9,452	△629	
買掛金・加盟店買掛金	4,093	3,809	△284	チェーン全店仕入高 14年3月 49億15百万円 15年3月 45億88百万円
未払金	1,452	1,327	△125	オープンアカウント勘定(加盟店に支払う分配金)74百万円減少
未払法人税等	2,446	1,761	△684	
未払消費税等	25	465	440	14年3月期 竜王流通センターの設備投資で24億35百万円(税込)計上
その他	2,064	2,088	24	
固定負債	3,059	3,352	292	
リース債務	1,047	1,312	264	11店舗で 3億67百万円計上
資産除去債務	812	845	33	
負債合計	13,141	12,804	△337	
株主資本	39,846	44,029	4,183	
純資産合計	39,852	44,043	4,191	自己資本比率77.5% 2.3ポイント向上
負債純資産合計	52,994	56,848	3,854	

キャッシュ・フロー計算書



<単位:百万円>

	2014年3月期	2015年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,278	4,660	△2,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,764	△3,896	△1,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,590	△1,775	△185
現金及び現金同等物の増加額	2,924	△1,011	△3,935
現金及び現金同等物の期首残高	23,116	26,040	2,924
現金及び現金同等物の期末残高	26,040	25,028	△1,011

■営業活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・加盟店貸勘定が増加した事により 9億60百万円減少
- ・たな卸資産の増加で1億52百万円減少
- ・仕入債務の減少で 7億44百万円減少
- ・未払金の減少で4億27百万円減少
- ・法人税等支払額の増加で 9億21百万円減少
- ・未払消費税等の増加で5億79百万円増加

■投資活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金で30億円の増加
- ・有形固定資産の取得による支出の減少で 15億62百万円
- ・無形固定資産の取得による支出の減少で1億61百万円

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
営業収入	12,995		12,955		△0.3	
加盟店からの収入	9,445		9,605		+1.7	加盟店期中平均店舗数 当期635店舗、前期613店舗 22店舗増加 加盟店売上高 当期629億23百万円、前期621億12百万円 1.3%増加 荒利率 当期35.4%、前期35.3% 0.1%向上
その他の営業収入	3,550		3,349		△5.7	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比 3.8%減で業務受託収入1億45百万円減少、 賃貸料収入32百万円減少
売上高	35,141		35,471		+0.9	
直営店売上高	6,688	(100.0)	6,262	(100.0)	△6.4	直営店期中平均店舗数 当期105店舗、前期108店舗 3店舗減少
加盟店向け商品供給売上高	28,453		29,208		+2.7	加盟店売上高前期比1.3%増加
営業総収入	48,137	100.0	48,426	100.0	+0.6	
直営店売上原価	3,169	6.6	2,575	5.3	△18.7	
加盟店向け商品供給売上原価	28,453	59.1	29,208	60.3	+2.7	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	31,622	65.7	31,784	65.6	+0.5	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
売上総利益	(3,518)	(52.6)	(3,686)	(58.9)	+4.8	海外直接貿易取引の増加で仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	16,514	34.3	16,641	34.4	+0.8	
販売費及び一般管理費	8,136	16.9	8,302	17.1	+2.0	増減要因 人件費 約27百万円増加 販売費 約78百万円増加 (ステップアップ賞報酬金 約92百万円増加) 竜王流通センター運営費用 約1億62百万円増加 旅費交通費・減価償却費等 約1億31百万円増加 竜王流通センターイニシャルコスト 約1億11百万円減少 直営店舗期中平均3店舗減 地代家賃等 約83百万円減少
営業利益	8,378	17.4	8,339	17.2	△0.5	
営業外収益	1,179	2.4	1,200	2.5	+1.9	
営業外費用	54	0.1	70	0.1	+30.2	
経常利益	9,503	19.7	9,469	19.6	△0.4	
特別損失	40	0.1	19	0.0	△52.8	固定資産除却損 POSレジ入替による廃棄損約5百万円 減損損失 営業店5店舗、返却2店舗、転貸店2店舗、 合計9店舗で約14百万円
当期純利益	5,586	11.6	5,876	12.1	+5.2	復興特別法人税の廃止で約1億71百万円増加

本資料お取扱に関してのお願い



- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>